

乾草つくりのコツ

乳牛や和牛をじょうずに飼育するにはどうしても良質の乾草が必要です。それにはまず収穫量にこだわらずに、なるべく早めに刈り取ることです。次には、雨や夜露に当てないことと、早く干しあげることです。これが何といても乾草作りのコツです。こうすれば最もたいせつなたん白質やカロチン、ビタミンの損失を防ぐことができるうえに、家畜も喜んでむだなく食べます。従って、乾草を作るには、天候をよく見きわめて、朝露のあるうちに刈取りを終り、それを薄く広げて、できるだけ何回も反転することがたいせつです。こうすると、1日で水分量が25パーセントくらい干しあがります。それを夜間もどさないように、長さ3メートルの竹を組んだ三角架を作ってそのわくに積み重ね、その上にむしろかこもを覆っておきます。そうすれば、にわか雨が降っても弱い発酵をするだけで変

質しません。

そして3日目の午後3時ごろまでに集めて、納屋にしまいこみます。この場合箱などを利用して足でふみしめよく圧縮して、容積を小さくしてなわか針金で堅く縛っておくと、かまが生えたり葉が落ちるのを防ぐことができます。また生草圧搾機を使って水分の発散を早めたり、常温通気乾燥や熱風乾燥機を用いると、いっそうよい乾草が作れます。

こうして青刈作物の給与とあわせて飼料形態の改善に努めましょう。